

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)		その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)
「通勤・通学」 の場合 目的地(施設名) ○○会社、○○高校等 ()	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「買い物や 娯楽」 の場合 目的地(施設名) ○○スーパー、 図書館等 ()	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「病院や 福祉施設」を 利用する場合 目的地(施設名) ○○病院、 老人福祉センター等 ()	➡	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (問3へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: 形原地区あじさいくるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()

(3)主なバスの利用目的をお答えください。(2つまで○)

- | | | | | |
|-------------------|-------|------------|---------------|----------|
| 1: 通勤 | 2: 通学 | 3: 買い物 | 4: 塾・習い事 | 5: 趣味・娯楽 |
| 6: 観光 | 7: 通院 | 8: 福祉施設の利用 | 9: その他公共施設の利用 | |
| 10: その他 (_____) | | | | |

**問4-2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、満足していますか？ (1つに○)
また、その満足・不満の理由をお答えください。**

- | | |
|----------------------|---|
| 1: 満足 | } |
| 2: おおむね満足 | |
| 3: やや不満 | } |
| 4: 不満 | |
| 5: バスを必要としない (わからない) | |

満足な理由は？ (3つまで○)

不満な理由は？ (3つまで○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1: 目的地に直接行ける | 1: 目的地に直接行けない |
| 2: 目的地まで早く行ける | 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる) |
| 3: 自宅から停留所までが近い | 3: 自宅から停留所までが遠い |
| 4: 乗りたい時間に運行している | 4: 乗りたい時間に運行していない |
| 5: 運賃が安い | 5: 運賃が高い |
| 6: 座れる | 6: 座れない |
| 7: 時間通りに来て予定が組みやすい | 7: 時間が読めない。予定が組みにくい |
| 8: 利用方法が簡単 | 8: 利用方法を知らない・難しい |
| 9: バス以外に交通手段がない | 9: 車などのバス以外の交通手段がある |
| 10: その他 (_____) | 10: その他 (_____) |

問5. 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5-1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは名鉄西尾・蒲郡線をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- | | | | |
|-------------------------------|-----------|-----------|---------|
| 1: 週に3日以上 | 2: 週に1~2日 | 3: 1ヶ月に数日 | 4: 年に数日 |
| 5: ほとんど乗らない (問5-2へ) | | | |

問5-4. 蒲郡市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRするべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続するべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（_____）

問5-5. 別添資料の「蒲郡市内の鉄道・バスのルート」をご確認ください。

民間の路線バスは、名鉄西尾・蒲郡線と並行してルートが設定されています。現状、名鉄にも路線バスにも税金投入を行い、維持している状況です。

名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者任せにすればよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（_____）

問6-4. 蒲郡市内の「民間の路線バス」は、運賃収入だけでは運行できないため、税金を投入して維持しています。

これら「民間の路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入、周辺の居住者数などに違いがあるため、路線ごとに投入する税金の額が異なっています。この違いに対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき
- 6: その他(_____)

問6-5. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道・路線バス・支線バス等を維持するために年間約1億6,000万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか？(1つに○)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-6. 蒲郡市内の鉄道やバスの路線維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのように考えるべきですか？(1つに○)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
- 3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 5: 現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 6: 税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 7: わからない。
- 8: その他(_____)

問6-7. 蒲郡市では、「高齢者タクシー運賃助成事業」として、70歳以上の高齢者に対して、年間100枚まで、タクシー料金が3割引き(タクシー会社が1割、市が2割負担)になるチケットを配布する事業を行っています。この事業の利用者が増加し、市の負担金が増加しており、年間1,550万円程度の費用を投入しています。当該事業に対するあなたのご意見に近いものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき
- 2: 市の補助金を2割から1割にして、市の補助額を削減すべき
- 3: 現在配布している枚数(100枚)を、年間50枚に削減し、市の補助額を削減すべき
- 4: 配布対象年齢を70歳から、75歳に引き上げることで、補助額を削減すべき
- 5: 普通のタクシーを利用すればよく、制度そのものを無くすべき
- 6: その他(_____)

問6-8. 別添資料の「蒲郡市内の鉄道・バスのルート」をご確認ください。

蒲郡市は、鉄道駅やバス停留所から遠く、鉄道や民間の路線バスの利用が難しい、山間部等の「交通空白地域」を抱えています。

あなたは、こうした「交通空白地域」に対して、どのような対策を講じる必要があると思いますか？ あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない
- 2: 交通空白地域であるので、税金を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき
- 3: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、枚数の制限をなくして配布すればよい
- 4: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい
- 5: 地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい
- 6: 居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助ければよく、特に対応する必要はない
- 7: 民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくるべき
- 8: その他(_____)

問6-9. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに○)

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う
 ※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
 ㊲) 60~64歳 ㊱) 65~69歳 ㊰) 70~74歳 ㊱) 75~79歳
 ㊲) 80~84歳 ㊱) 85~89歳 ㊰) その他(_____ 歳)
- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問7. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人(当てはまらない人)は、最終12ページの自由意見にお進みください。

問7-1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|-------|---------------|
| 1: ある | | 問7-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くにバス停留所はない | } | ..問7-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バスの乗り降りや外出するのが負担 | 4: 行きたい場所にバスが通っていない |
| 5: 利用したい時間にバスが走っていない | 6: 運行本数が少ない |
| 7: 運賃が高い | 8: 目的地まで時間がかかる |
| 9: 目的地まで遠回りする | 10: 時刻表通りに来ない |
| 11: 目的地への到着が遅れる | 12: 始発バスの時間が遅い |
| 13: 最終バスの時間が早い | 14: 帰りに利用できるバスがない |
| 15: 乗り継ぎが不便 | 16: 時刻表やルートがよくわからない |
| 17: バスの乗り心地が良くない | |
| 18: その他 (_____) | |

問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くに、条件に合ったバスが運行されれば、あなたは利用しますか？

(1つに○)

- | | | |
|-------------------|---|---------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } | ..問7-4を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | | |
| 3: 利用しない | | |

※利用しない理由は？

- | | |
|------------------|-------------------|
| ア) 自家用車での移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ウ) 徒歩や自転車がある | ロ) その他 (_____) |

問7-4. 条件が合えば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「運行本数」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用
- イ) 30 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- ウ) 15 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- エ) 運行本数は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(2)「運賃」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用
- イ) 現在のバスよりも安い運賃であれば利用
- ウ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用
- エ) 運賃は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(3)「目的地までの所要時間」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用
- イ) ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用
- ウ) 所要時間は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（_____）

(4)「車両の形状」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）
- イ) ジャンボタクシーサイズの車両でも利用可能
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用可能
- エ) 車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「定時運行方式」と呼びます。「運行方式」に関して条件はありますか？（1つに○）

- ア) 自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用
- イ) あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）
（利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式）
- ウ) 運行方式は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（_____）

(6)バスを利用することが考えられる目的は何ですか？

①通勤・通学、②買い物・娯楽、③病院(通院)④その他 それぞれについて、その目的の目的地(場所)、利用頻度について回答ください。

例：③病院に行くために、蒲郡地区に1ヶ月に数日利用する場合

		回答例 ③ 病院	① 通勤 通学	② 買い物 娯楽	③ 病院 (通院)	④ その他
目的地の 場所は？ (1つに〇)	1: 大塚地区	1	1	1	1	1
	2: 三谷地区	2	2	2	2	2
	3: 蒲郡地区	③	3	3	3	3
	4: 中部地区	4	4	4	4	4
	5: 塩津地区	5	5	5	5	5
	6: 形原地区	6	6	6	6	6
	7: 西浦地区	7	7	7	7	7
	8: 市外	8	8	8	8	8
外出する 頻度は？ (1つに〇)	1: 1週間のほぼ毎日	1	1	1	1	1
	2: 平日はほぼ毎日	2	2	2	2	2
	3: 週に3～4日	3	3	3	3	3
	4: 週に1～2日	4	4	4	4	4
	5: 1ヶ月に数日	⑤	5	5	5	5
	6: 年に数日	6	6	6	6	6
	7: ほとんど行かない	7	7	7	7	7

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、平成29年9月25日(月)までに投函してください。